

# 現代中東政治を読む —「アラブの春」から「イスラム国」まで—

イスラム国の出現は、イスラム過激派の新たな展開として世界を震撼させるとともに、中東世界の政治地図を塗り替えるような流れを生み出しています。

本シンポジウムでは、イスラム国をめぐる政治を、その原点ともいえる大国の中東政策、イスラム主義の変遷とイスラム過激派の戦略転換、アラブの春との連続性、中東・北アフリカ諸国への影響などの観点から解き明かします。皆様のご参加をお待ちしております。

■2015年6月26日(金) 17:30~19:30

上智大学四谷キャンパス中央図書館9階 L-921会議室

## ■プログラム

17:30~17:35 趣旨説明(岸川毅・上智大学)

17:35~18:15 基調講演

「イスラム国の出現と中東・北アフリカ地域の変容」  
(私市正年・上智大学)

18:20~19:00 コメント

「トルコの視点から」(澤江史子・上智大学)

「エジプトの視点から」(金谷美紗・中東調査会)

「アメリカの視点から」(前嶋和弘・上智大学)

19:00~19:30 ディスカッション

■主催:上智大学総合グローバル学部(FGS)

■共催:NIHU「イスラーム地域研究」プログラム  
上智大学拠点・イスラーム運動研究班

■後援:日本比較政治学会

